

各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム
 代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
 (コード番号:3814 東証 J A S D A Q)
 問合わせ先 上席執行役員 IR・広報室室長 菊本 健司
 電話番号 0836-39-5151
 U R L <https://www.afs.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年11月12日開催の取締役会において最近のコロナ禍の動向、業績の動向等を踏まえ、2020年6月25日に公表した2020年9月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年9月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,460	百万円 △392	百万円 △421	百万円 △573	百万円 △232.60
今回修正予想(B)	1,291	△508	△532	△655	△266.07
増減額(B-A)	△169	△116	△111	△82	
増減率(%)	△12.0				
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期)	2,218	335	267	126	51.31

●主な修正の理由

当社は2020年2月に、更なる外食産業の人手不足対策製品として配膳AIロボットのリリースを発表し、主力サービスの自動発注システムも、ウィズコロナ時代を見据えての大手チェーンの導入は第2波の影響で、やや遅れてはいるものの、順調に導入が進んでおります。

主な修正理由としましては、6月より本格的にレンタルを開始した配膳AIロボットについて、ウィズコロナ時代を見据えた大手外食チェーンの引き合いが急増し、9月には大型の受注納品先が決定しておりましたが、世界におけるコロナ禍の運搬事情により、部品を含む製品が9月末までに国内に到着できず納品に至らなかったため、1億円超の売り上げ減収要因となりました。

また、現在販売中のシステム機器製品の一定量の在庫につきましても、次年度の出荷予定はあるものの、コロナ禍の影響を考慮し、保守的に約22,000千円程度の評価減(売上原価増)を行った結果などにより、収益面において、当初の業績見通しを下回ることとなりました。上記の修正理由により、未出荷の製品については今期(2020年10月1日～2021年9月30日：第28期)に売上/利益計上される見込みです。なお、中期経営計画につきましては変更ございません。

引き続き、当社が現在経営資源を集中させております、人手不足対策製品である、「飲食店経営管理システム®」、特許取得済みの「自動発注システム」、同じく特許取得済みの「セルフレジ」、「配膳A Iロボット」のすべてが、ウィズコロナ時代を見据えての大手外食チェーン対策製品として多くの引き合いを頂いており、今後の業績につきましては、予定通り順調に推移する見込みでございます。

今後も全役職員一丸となって、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に励んで参りますので、株主や投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上